

北区自転車ネットワーク計画（案）パブリックコメント実施結果

1. パブリックコメントの概要

- 意見提出期間：平成30年12月20日（木）～平成31年1月30日（水）
- 意見提出者数：4名
（内訳）持参：0名、郵送：1名、ファックス：0名、ホームページ：3名
- 意見総数：20件 ※類似の意見はまとめさせていただきました。
- 周知方法：北区ニュース、北区ホームページ
- 案閲覧場所：北区ホームページ、土木政策課、区政資料室、各地域振興室、各区立図書館

2. パブリックコメントによる内容の修正箇所

掲載箇所	修正前	修正後
本編 10ページ	また、継続して交通安全に関するルール・マナーの啓発活動を実施していきます。	また、継続して交通安全に関するルール・マナーの啓発活動を実施するとともに、 <u>国及び都の自転車活用推進計画に柔軟に対応</u> していきます。
本編 17ページ 43ページ	自転車での利用が想定される施設配置図において、「商業施設」は4施設を記載していました。	「商業施設」を3施設追加し、施設配置図に7施設の記載としました。

3. 提出された意見の概要とそれに対する区の考え方

- 意見の内訳：
 - (1) 計画策定の背景・目的について：2件
 - (2) 自転車利用に関する現状について：1件
 - (3) 区民ニーズについて：2件
 - (4) 計画目標について：1件
 - (5) 自転車ネットワーク路線について：4件
 - (6) 自転車ネットワーク路線における通行空間整備について：4件
 - (7) 自転車の適正利用を促すための周知・啓発について：3件
 - (8) その他：3件

(1) 計画策定の背景・目的について

No.	意見概要	区の考え方
1	自転車活用による環境保全、健康増進、防災、観光等の有用性を示し、自転車活用推進への姿勢を明記すべきである。	<p>本案は、国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づき、安全で快適な自転車利用環境の創出を促進するための自転車ネットワーク計画を策定するものです。</p> <p>自転車活用の推進に関する環境保全、健康増進等は、自転車活用推進法に基づく、国及び都の自転車活用推進計画に柔軟に対応していくことといたします。</p>
2	歩行者主体のまちづくりを望んでいる。歩行者のことを最優先に考えた計画をしていただきたい。	<p>本案の基本方針のひとつに「自転車関連事故減少のための通行空間整備」を示しています。歩行者と自転車の通行空間を分離することにより、すべての道路利用者の安全で快適な移動を目指していきます。</p>

(2) 自転車利用に関する現状について

No.	意見概要	区の考え方
1	「自転車での利用が想定される施設」について、併設する駐輪場が区民に多く利用されているサンスクエアも対象とし、サンスクエアの床面積以上の商業施設を対象として頂きたい。	<p>ご指摘のとおり、床面積1万㎡以上の3つの商業施設を追加しました。</p>

(3) 区民ニーズについて

No.	意見概要	区の考え方
1	区内の駐輪場及び道路については、近隣区市からの自転車利用も多く、区外の自転車利用者ニーズも把握する必要がある。	<p>自転車利用環境の整備につきましては、近隣区市の計画及び自転車利用状況等の動向を注視しながら行ってまいります。</p>
2	自由意見に「レンタサイクル・シェアサイクル」を望む意見があるが、この意見は、区外の方からさらに望まれていると想定される。また、区外からの来街者を増やすことや観光施策として、レンタサイクル・シェアサイクルの導入を計画化して頂きたい。	<p>レンタサイクル・シェアサイクルの導入につきましては、近隣区市の動向を注視・研究しながら、自転車活用推進の観点も含めまして、検討してまいります。</p>

(4) 計画目標について

No.	意見概要	区の考え方
1	計画目標に整備延長等ではなく、事故件数の減少や満足度の向上を目標に掲げたことは興味深いですが、現況値のみではなく、5年後及び10年後の数値目標を掲げて頂きたい。	自転車利用環境の整備等の施策を着実に実施し、計画目標の「自転車関連事故件数の減少」及び「自転車利用環境に対する満足度の向上」の達成を目指します。現況値以外の数値目標については、計画の見直しのタイミングにおいて、適正に評価し、施策の方向性を踏まえ検討してまいります。

(5) 自転車ネットワーク路線について

No.	意見概要	区の考え方
1	区民の自転車利用目的の約半数が買い物であり、さらに、自転車利用ルートにおいて、商業施設や商店街周辺に集中して自転車利用がみられるため、「商業施設を結ぶ路線」の施設について、商業施設の他に商店街も含めて頂きたい。	商店街への移動（自転車利用）につきましては、選定要件④により、区民アンケート調査の結果を反映し、利用者ニーズがある路線として選定されております。
2	「商店街を形成している道路を含む路線」は、「ネットワーク路線に選定しない」ことになっているが、商店街は利用者ニーズでもあげられているため、自転車ネットワーク路線の一環に含めて頂きたい。	区民アンケート調査の結果から、商店街への移動に自転車が多く利用されていることは認識しております。しかし、商店街は、買い物等を楽しむ歩行空間であるため、安全で快適な自転車利用環境を整備することが困難です。 ご意見のとおり、徐行又は手押しルールの徹底・浸透を図る等により、歩行者及び自転車利用者がともに安全で快適な通行ができる空間づくりに取り組んでいきます。
3	十条駅、十条銀座商店街付近は、自転車利用が多いにも関わらず、ネットワーク路線に選定されていないため、ネットワーク路線を設けるべきである。	同上
4	自転車ネットワーク路線の整備だけではなく、駐輪場の整備もあわせて計画して頂きたい。	本案は、国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づき、安全で快適な自転車利用環境の創出を促進するための自転車ネットワーク計画を策定するものです。 駐輪場につきましては、「北区基本計画2015」に基づき、引き続き自転車駐車場の整備を推進してまいります。

(6) 自転車ネットワーク路線における通行空間整備について

No.	意見概要	区の考え方
1	ハード面の自転車通行空間整備も重要であるが、ソフト面の対応も進めて頂きたい。	ソフト面の対応につきましては、本案の基本方針のひとつに「交通安全に関するルール・マナーの啓発活動」を示しています。 具体施策のひとつとして、オリジナルの啓発用リーフレットを作成し、広く周知・広報していきます。
2	自転車通行空間の整備は、自治体の力が無くしては推進できないことから、是非取り組んで頂きたい。	本案に示しました、自転車の適正利用を促す環境構築を着実に実施していきます。
3	特殊部（バス停部、パーキングメーター等設置部等）について、自転車通行位置を明確化するとともに、道路標識や路面表示をあわせて整備して頂きたい。	今後の自転車通行空間の整備では、自転車が通行する位置を分かりやすく伝えられるよう、関係機関と協議・調整を行います。
4	自転車の高速走行を制限する物理的な整備に取り組んで頂きたい。	高低差のある区間では、高速走行になりやすいと考えられます。北区の地形からも高速走行を抑制することが必要であると考えますので、広い幅員の確保や看板の設置等のハード面と利用ルールの周知・啓発等のソフト面をあわせた取り組みをしていきます。

(7) 自転車の適正利用を促すための周知・啓発について

No.	意見概要	区の考え方
1	自転車利用のルール・マナーの啓発活動等のソフト面の対策を交通管理者、道路管理者等の関係機関と連携して行い、商店街における、安全な道路空間の確保を実現して頂きたい。	関係機関と協力・連携を図りながら、歩行者及び自転車利用者がともに安全で快適な通行ができる空間づくりに取り組んでいきます
2	自転車の適正利用を促すための周知・啓発活動について、地域密着型企業等と連携し、効率・効果的な取り組みを行い、企業等の発展に資するような検討をして頂きたい。	企業等との連携した取り組みにつきましては、他自治体の取り組み等を注視しながら、研究してまいります。
3	自転車が信号無視をし、事故を起こしそうになっている場面をよく見かける。自転車利用者に交通ルールを順守させる取り組みが必要である。	本案の基本方針のひとつに「交通安全に関するルール・マナーの啓発活動」を示しています。自転車利用環境づくりと自転車利用者のルール順守やマナーの向上のための活動をしていきます。

(8) その他

No.	意見概要	区の考え方
1	健康増進の観点から、ウォーキングアプリ「あるきた」の自転車版の作成・展開や「あるきた」との連動を検討して頂きたい。また、サイクリングコースの設定は、今回の調査結果を有効に活用して選定して頂きたい。	アプリの開発やサイクリングコースの設定等の自転車を利用した健康増進のための取り組みにつきましては、他自治体の取り組み等も参考にしながら、自転車活用推進の観点も含めまして、今後、研究してまいります。
2	日常移動と分離した、健康増進のためのサイクリングイベント(河川敷等を利用した)の実施・支援等を検討して頂きたい。	サイクリングイベントにつきましては、他自治体の取り組み等を注視しながら、自転車活用推進の観点も含めまして、研究してまいります。
3	検討会においては、各委員が北区の道路の状況を把握した上で、計画策定に取り組んで頂きたい。	検討会では、写真付きの資料作成や映像を用いた検討を行い、現地の道路状況をイメージしながら把握し、計画策定を行いました。